

「YNU テクノワールド 2019」開催

技術補佐員 金田 祐子

高校生を対象として、最先端の科学機器を体験してもらい、科学への興味を深めてもらう講座「YNU テクノワールド 2019」を2019年8月2日（金）に開催しました。この講座は2000年以來、機器分析評価センターが毎年行っているものです。

今回は、県内外から15名の参加がありました。当日は谷村専任教員の開会挨拶で始まり、下記の4つの実験テーマに分かれて、分析機器の原理の説明から操作体験まで行いました。実験終了後には、機器分析評価センターおよびRI教育研究施設の様々な設備を見学しました。

【実験テーマ（使用した分析機器）】

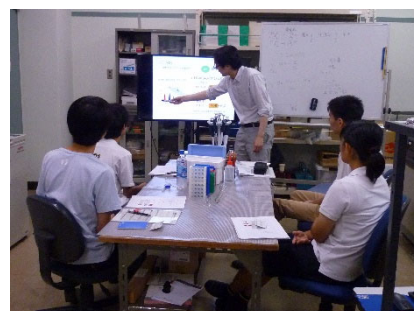
1. 原子の世界を見てみよう（透過電子顕微鏡）
2. ナノテクノロジーを体験しよう（走査型電子顕微鏡、集束イオンビーム加工装置）
3. ダイエットコーラの成分を調べてみよう（質量分析装置）
4. 放射線を見てみよう（イメージアナライザー）



開会の挨拶



実験風景



最初は緊張した様子だった参加者も、実際に手を動かして作業をしていくうちに慣れていき、質問や感想を述べる姿が見られました。最先端の機器に触れ、それぞれが考えて自分の手で実験を行う中で、大学の研究に対するイメージが膨らんだのではないのでしょうか。今回の経験を通して、科学や研究に対し、さらに関心を深めてもらえれば嬉しく思います。

終了後のアンケートでは、「有意義であった」、「大学への興味が湧いた」という回答を多くいただきました。また、「昼休みに実験室以外の場所も見れたので良かった」とのコメントもあり、講座以外でも大学の雰囲気を体感できるいい機会になったのではないかと思います。一方で、「あまり理解できなかった」、「分析結果が出るまでの待ち時間が長かった」などの声もいただきました。これらの意見を今後の参考にし、参加者にとって有益な講座になるよう、講座内容、テキストを改善していきたいと考えております。

最後に、本講座の開催にあたりご協力いただいた方々に深く感謝いたします。